

## 別紙 1

## 特定施設(大気基準適用施設)の構造

工場又は事業場における施設番号	1号炉	
特定施設号番号及び名称	5号 廃棄物焼却炉	
型 式	△ △社製 ABC-123 型	
施設 の 設置 場所	別紙のとおり	
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
規 模	原料の処理能力 (t/h)	
	変圧器の定格容量 (KVA)	
	炉 の 容 量 (t)	
	焼 却 能 力 (kg/h)	76
	火 床 面 積 (m <sup>2</sup> )	1.14
その他参考となるべき事項		

備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 規模の欄には、令別表第1に掲げる施設に係る項目について記載すること。

3 特定施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付のこと。

別紙 2

特定施設(大気基準適用施設)の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉	
使用状況	1日当たりの使用時間及び月使用日数等	9時～ 16時 20日/月	時～ 時 日/月
	季節変動	なし	
原料及び燃料 (ダイオキシン類の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず、紙くず 繊維くず	
	使用割合	木くず 80% 紙くず 15% 繊維くず 5%	
	原料又は燃料中の塩素分の成分割合(%)	0.002	
	1日の使用量	400kg	
排出ガス量(m <sup>3</sup> /h)		最大 湿り1,050 湿り840 通常 乾き1,000 乾き800	最大 通常
排出ガス温度(℃)		200	
排出ガス中の酸素濃度(%)		15	
排出ガス中のダイオキシン類の濃度(ng-TEQ/m <sup>3</sup> )		最大 1 通常 0.1	最大 通常
その他参考となるべき事項			

- 備考 1 廃棄物焼却炉にあつては、種類の欄には、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くずその他の廃棄物の種類を、使用割合の欄には、廃棄物の種類ごとの焼却割合を記載すること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ダイオキシン類の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 その他参考となるべき事項の欄には、排出ガスの排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出ガス量の変動の状況を記載すること。

別紙 3

発生ガスの処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1号炉 焼却炉集じん装置	
名称及び型式	△ △社製 ABC-456型サイクロン	
発生ガスの処理の内容	ばいじんの除去	
処理の系統	別紙のとおり	
施設の設置場所	別紙のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 設置届出の場合には工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 発生ガスの処理に係る施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。